

第3回北海道ブロック協議会
第3回北海道代協理事会
議事録

日時：平成29年10月6日（金）13:00～16:45

場所：ホテルライフオーブ札幌 4階「アニマート」

出席者

日本代協会長	金子 智明		理事	壽時 康二	札幌	理事	木村 勇人	函館
日本代協理事	丸山 邦夫		理事	本谷 吉伸	札幌	理事	上畑 雅則	釧路
会長	佐々木 雅之	札幌	理事	細川 直美	札幌	理事	山内 正明	釧路
副会長	大高 喜弘	釧路	理事	土井 良治	室蘭	理事	加茂 寛介	釧路
副会長	大橋 敏	函館	理事	根布 匡章	小樽	理事	澤田 憲孝	帯広
理事	白戸 俊成	札幌	理事	本田 秀一	苫小牧	理事	深井 弘美	帯広
理事	山口 史朗	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧	監事	富田 明久	苫小牧
理事	酒井 正衛	札幌	理事	小笠原 信夫	千歳	政治連盟	赤山 登	札幌
理事	山崎 善仁	札幌	理事	田代 誠治郎	函館	事務局	藤田 和代	
理事	嶋田 拓馬	札幌	理事	濱中 公也	函館			

司会 大高 喜弘

1. 開会の辞 大高 喜弘
2. 北海道代協会長挨拶 佐々木会長
全道各地からお集まりいただきありがとうございます。9月15日に開催された函館支部70周年式典お疲れ様でした。今後の更なる活躍に期待します。
今日も活発な意見をお願いします。
3. 日本代協会長挨拶 金子会長到着次第、ご挨拶を頂く。
4. 日本代協理事挨拶 丸山理事
こんにちは。本日もお忙しい中、代協活動にご尽力いただきありがとうございます。
日本代協金子会長もいらっしゃるので盛り上げていきたい。
5. 募集規範朗読 嶋田理事
6. 議長選出 大橋副会長が議長に選出された。
7. 出席理事数の確認 理事数33名 出席理事数24名
定款により理事会の成立が宣言された。

8. 議事録署名人

定款により、佐々木会長・富田監事が指名された。

9. 議事

〔Ⅰ〕承認事項

- (1) 平成 29 年 7 月 21 日開催 第 2 回北海道ブロック協議会・第 2 回北海道代協理事会議事録の承認
拍手をもって承認された。

〔Ⅱ〕報告事項

- (1) 日本代協理事会報告 丸山日本代協理事

理事会報告の前に旭川支部所属の理事全員が前回に引き続き欠席ということなので一言申し上げたい。この件について日本代協担当理事として具体的に何も出来ていないということに忸怩たる思いをしている。そして皆様に大変ご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。多くの旭川支部の会員の皆様にとって大変残念なことと認識している。今後一日も早く正常化してもらおうよう私も出来ること何でもやる覚悟です。皆様より是非ご指示いただければありがたいと考えている。この件につきましての旭川支部の皆様へのメッセージとしたい。

理事会報告要点 (別紙参照)

また参考資料として、竹中平蔵氏の FP 協会での講演の抜粋を用意した。ご覧いただきたい。

PAIS の資料も併せて用意した。アメリカでの募集人の地位の高さが分かる。

日本代協の理事会議事録及び資料は日本代協の書庫にあるので参照し目を通し代協活動や本業に活用してほしい。

平成 29 年度日本代協表彰者のプロフィールについての資料も参照して欲しい。
(コンベンションにて表彰)

平成 29 年度版日本代協の現状と課題が届いているので熟読して会合、会議に必携し利用してもらいたい。

1. 会員増強について

北海道代協の組織率は 45.3%、目標は 50%であるのでもう少し。

厳しい環境であるが取り組んでほしい。

2. 北海道の代理店実在数は 8,531 店である。トータルプランナーの見込みもある。
上記の 2 点をしっかり取り組んでいきたい。

- (2) 日本代協ブロック長懇談会報告 佐々木会長

9 月 1 日に開催された。議案書 P4 から P23 参照

- ① 金子会長から保険の窓口さんは、行政 (体制整備等) が求める以上のものを展開していると報告があった。マーケットの主役はお客様であるという観点から苦情を非常に大切にされている。年間 3,000 件以上の苦情があり同時にお褒めの言葉も 1,200 件以上ある。お褒めの言葉のなかで保険商品の内容ではなく募集人の姿勢が素晴らしいとの意見をいただく。お客様の話の聞く力が大変大切である。参

考にしてほしい。

- ② 日本代協コンベンションで、リフォーム業者の二宮社長の講演がある。悪徳リフォーム業者の悪い評判も払拭したいとの思いもあるそうです。
- ③ 福岡代協の代協会員の実態調査の取りまとめが出てきて、会員増強やコンサルティングコースの受講勧奨に貴重な資料になる。
- ④ 活力研（P18）は、手数料ポイントと乗り合いについて話し合われた。

上記4点について、各支部に持ち帰り情報提供してもらいたい。

（3）北海道代協報告 佐々木会長

- ① 函館支部70周年記念事業について。
- ② 10月に小樽支部70周年を式典ではないが（祝賀会）行う。
- ③ 12月14日に損保協会主催代理店向け地震保険セミナーが札幌で開催される。熊本の代理店川口氏が地震の実体験を話される。日本代協アドバイザーの栗山氏がコーディネータを務めるので是非参加してもらいたい。
- ④ 旭川支部の件の経緯について

2016年7月理事会の際、佐々木会長から寺田理事に旭川支部に行きたいと申し入れしたが断られた。

2017年年明けに人を介し、3月末までに行きたいと申し入れをしたが回答はなかった。

2017年7月理事会で、旭川支部の理事全員が欠席だったため、理事会において北海道代協運営上支障が出ていることが問題視され、意見交換がなされた。情報の入らない会員こそが被害者であり、対応が必要との認識を共有した結果、執行部一任との結論が出た。

その後、執行部で議論し、山口理事（元会長）と山崎理事（元会長）が旭川支部に行き理事、幹事の皆様と懇談したい旨を伝えることになった。山口理事から山本支部長に電話をしたところ、日程調整後返答するとのことだった。しかし9月上旬に山本支部長から正式に断りの連絡があった。

9月8日佐々木会長から山本理事（支部長）と寺田理事宛に、再度伺いたい、伺いたい旨のメールを送付。日程については合わせると伝えた。その返信がなかったため、9月22日に佐々木会長から本村監事に寺田理事との電話対応を依頼した。本村監事から佐々木会長に折り返し電話があり、1時間後に山本理事（支部長）に電話するよう求められた。1時間後に佐々木会長が山本理事（支部長）に電話をしたところ、山本理事より、会長一人だけではなく執行部のほかのメンバーと来るよう要請された。

（この際、佐々木会長は、執行部全員に来てほしいとの要請と勘違いをした）執行部で勘違いしたまま協議したところ、全員ということであれば、旭川の理事（監事を含む）が理事会の場の方が良いのではと結論が出て、会長から山本理事に結果を伝えるとともに、一人でもよければいつでも何うと伝えた。具体的には10月10日から13日という日程も提示した。（メール）

山本理事からの返事は、執行部全員とは言っていない。会長プラス他にひとり来てほしいとのことだった。現在執行部で検討中。

まだ会えてはいないが会えるよう努力していく。

山口理事から補足

旭川支部では佐々木会長が来ないと云う話になっているようですが再三にわたり声をかけているが実現していない。

最初に会長が行きたいと言った時に、寺田理事から、大変厳しい言葉を頂きました。そのような状況から始まっている。

前回の理事会を受け、執行部から山口、山崎で旭川に行ってくれないかと依頼を受けて、二人とも会長経験者として旭川に行き、意見の相違を乗り越えて会員ののために一緒に活動していこう、という趣旨で訪問する予定だった。会長がいきなり行ったのでは最終結論になってしまうので、会長が行ける状況を作るための露払いのような環境整備するという目的で山本理事（支部長）に電話をした。

山本理事からはセッティングをしてお知らせしますとの事だったが、何日か後の返事の際はお断りしますとの事だった。

山本理事（支部長）の考えではないのかなという印象をもった。

その旨をすぐ会長に報告した。

（４）日本代協・北海道代協各委員会報告

① 組織委員会 細川委員長

P6 参照。日本代協組織委員会 7月18日開催

木下日本代協組織委員長から、会員増強運動について周りを巻き込む展開をして行こうと話があった。また金子会長から、スピード感をもって明るく楽しく元気に代協に対する熱い想いをもって会員へ徹底したいと冒頭挨拶があった。石川県代協のヒアリングシートの取組が良い結果を得た。コミュニケーションがとれた。

福岡県代協の「一人で悩んでいませんか？」取組紹介。

静岡県代協の戦略プロジェクト取組紹介。

熊本県代協の若手が多く活発化している取組が紹介された。

チャブのミニセミナーで、代理店賠償は日に2～3件の相談があり年間1,200件程度の相談がある。訴えられてからの相談が多い。

うろ覚えでついうっかりの商品説明が「大事」（おおごと）になっている。

年金基金は平成31年4月に合併するが、キャンペーンは引続き行う。

② 教育委員会 酒井委員長

P27 から。日本代協教育委員会 9月9日開催

独自プログラムのグランドデザインを検討中。

損害保険大学課程の北海道セミナーを9月8日に開催した。2回目は3月2日の予定。

コンサルティングコース(トータルプランナー)の更新勧奨92名対象で25名完了。

来年度のコンサルティングコース募集の北海道目標は40名。各保険会社の支店、支社、全てにパンフレットとポスターを配布したいので、協力してほしい。

社会的信認度を向上させたいので協力をお願いしたい。

③ CSR・広報委員会 嶋田委員長

P32～。日本代協CSR委員会 10月2日開催。

ぼうさい探検隊 北海道で2団体が申込。

子ども110番について全国で進んでいる。継続していく。

災害等の被災会員代理店支援策を検討している。

グリーン基金の公募は10月1日から12月31日まで。期日までに必着。締め切り厳守12月28日まで。

北海道代協CSR広報委員会 議案書 P29～

雑誌「HO」の全道向け広告は11月24日発売、1月号に掲載予定。

タオルボランティア運動は2か月間行う。

委員会で献血を行っている。

④ 企画環境委員会 濱中委員長

日本代協企画環境委員会 9月29日開催。

適正募集、ディーラーによる抱き合わせ販売について、案件の標準化（対応方法）をすすめている。会員向けに日本代協HPに情報を貼付けることを決定した。188件のデータベース化。

金融庁もウオッチする（個別対応するわけではない）

引続き各支部の企画環境委員を通じ情報をいただきたい。ディーラー向けチラシを作成中。

JCMの買取り。必ずお客様にメリットがある。（買取りが高ければ良し。もし安くても下取りに納得感がある）

日本代協の現状と課題をどうみてもらうのか。そのツールとしてのサマリー版間もなく完成。PPはやめる。

賠償の必要性。PP10分バージョン（最新版）各社の業務連絡会などで活用して欲しい

⑤ 事業委員会 本谷委員長

P43～。6月16日委員会開催

手数料目標170万円。順調に推移している。後半も頑張っていたきたい。

(5) 各支部活動報告と予定

議案書 P53 から参照

札幌、室蘭、小樽、苫小牧、千歳、函館、釧路、帯広支部から報告があった。

旭川支部は欠席の為、議事録掲載のみ。

〔Ⅲ〕 審議事項

(1) 人材育成研修会について 議案書 P46～

セミナー講師決定。元氣アップ ～ココロのサプリメント～ 塩谷隆治氏。

日本代協野元専務理事は予定通り。拍手で承認された。

(2) 日本代協コンベンション参加について 議案書 P48

参加者 19 名に決定。

参加者に 7,000 円の補助支出について。 拍手で承認された。

(3) 新年交礼会・公開講座

北海道代協新年交礼会は 2018 年 1 月 12 日。

例年通り組織委員会と札幌支部協力で運営を一任したい。

公開講座の講師選定について。ベルテンポ・トラベル・アンドコンサルタンツ 代表取締役 高萩氏でよいか。 拍手で承認された。

(4) 会費規則の細部について

前回の理事会後各支部に持ち帰り検討してもらい、回答をいただいた各支部の意見を取りまとめ執行部案を作成した。議案書 P50 参照。

1. 入会金の扱いについて

入会金は北海道代協に入金し、新入会員へ代協バッヂと名刺台紙を送付することにしたい旨提案。 拍手で承認された。

2. 中途入会の時の会費について

各支部の事情や過去の経緯を含め様々な意見交換、議論がされた。
その結果、執行部案で挙手の上賛成多数で議決された。

3. 退会の時会費の取り扱いについて

退会年度の中途退会については、返金しない。

ただし会費自振月の前月 10 日までに退会した場合はその年度の会費は徴収しない案が提示され議論の上、挙手の賛成多数で議決された。

4. 会費の収納回数等について

現状は年 2 回と 1 回または支部集金など混在している。

執行部案の 2 回払いが提示された。

会費収納については、セディナ社にて自振することは以前から理事会承認されている。また、各支部の活動費の確保。中途退会者に対する会費についてなど様々な意見が出され検討、議論が重ねられた。一度支部へ持ち帰り再度検討、説明が必要ではないのかとの意見もあった。多くの意見を集約し執行部より、6 月 6 日年 1 回セディナ社の自振徴収にしたいと提案があり、挙手の上賛成多数で議決された。

中途入会者の会費徴収、自振不能の際の会費徴収方法、振込手数料の負担先などの細部については、今後検討することとなった。

3. 日本代協金子新会長挨拶

皆様こんにちは、6 月 16 日に行われた日本代協通常総会で前岡部会長の後就任した、東京代協新宿支部所属の金子です。本年度北海道代協は会費統一をされ議論が色々あ

ろうかと思いますがご苦労様です。

日頃より代協活動にご尽力いただき深くお礼を申し上げます。

わたくしの代協経歴は、新宿支部長を2期4年、東京代協副会長、組織委員長を経て東京代協会長を2期4年務め建設的な議論を重ねてきました。その後日本代協副会長を1年務めました。日本代協第1回コンベンションPTメンバーもやらせていただきました。

会長就任後、全国のブロックに挨拶に回らせていただいています。

代協活動を苦しくやると長続きしない。明るく楽しくやっていただきたい。

都道府県代協会長の気持ちは会長しかわからないので、ご苦労や皆様のご尽力は理解し分かっている。

推進事項は色々ありますが、理解していただくことが大切なので、会員の皆様に伝えて欲しい。

行政からは顧客本位の実践と顧客視点で考え、あたりまえの事が求められる。

わたしの事務所は府中にある。金融庁から直接事務責任者に電話があり、ヒアリングが入った。選ばれたきっかけは、毎年行われるトータルプランナーの認定授与式の名刺交換だった。

自分（金融庁）たちで代理店と接触している。代理店の日常を興味深くヒアリングしている。

4つの好事例が紹介された。

- ① 理念を会社全員で共有
- ② 苦情対応（お褒めの言葉対応）
- ③ 損害保険代理店と言いつつも地域を代表するする相談所（人）
- ④ 給料体系（キャリアアップ制度の工夫）

日本代協も行政と良い関係でやっていきたい。

最後になりますが、本日午前中に札幌の損保会社5社を訪問してきた。

会員増強、コンサルティングコース受講勧奨、国民年金基金の要請をしてきた。

今年度の日本代協の三冠王を目指して欲しい。

皆様と一緒に汗をかきます。今後ともよろしくお願ひします。

(5) 次年度役員改選の件

議案書 P58 参照

代協役員の任期は1期2年です。今後のスケジュールを確認しておいてもらいたい。

平成30年3月31日が日本代協委員の報告期限である。

2月末までに各支部の役員候補及び北海道代協役員候補を決めていただきたい。

それを踏まえ、支部長、各委員会委員長と話し合いながら次期日本代協委員の選出を会長に一任したいとの提案があった。拍手をもって承認された。

(6) その他

・CSR広報委員会 嶋田委員長

命のミュージアムの団体への賛助会員登録要請について説明があった。

一口3,000円趣旨に賛同したいとの提案があった 拍手をもって承認された。

〔Ⅳ〕 その他

10. 監事講評 富田監事

長時間お疲れ様でした。会費の話は時間がかかる。みんなが納得する必要がある。執行部宜しくお願ひします。今回一番良かったのは旭川支部の動きが見えたことである。

次回もスピーディな審議をよろしくお願ひします。

11. 政治連盟報告 赤山委員

10月10日に衆議院選挙が始まる。北海道代協推薦候補者は、1区・船橋利実氏、2区・吉川貴盛氏、3区高木宏寿氏、4区・和田義明氏、8区・前田一男氏、9区・堀井学氏。

10月10日に日本代協政治連盟から推薦状が届くので、各支部長のご協力をいただき、手渡しをして欲しい旨の要請があった。

また、政治連盟会費の納入、特に「0」の支部には特段にお願いしたい。完納を目指して欲しい。政治連盟の会計年度締めは12月31日であることを再確認した。

次回は会費の納入方法等の議論をお願いしたい。

12. 閉会の辞 大高副会長

上記議事録を作成し、会長並びに議事録署名人が記名押印する。

平成29年10月6日

会長

佐々木 雅之

議事録署名人

富田 明久